

# 親子聖書日課

[日]主のために働けるのは、ただ主の恵みです。しかし、その恵みを忘れる時、自分が報われず、人が働かないことに、腹を立てるのです。先に救われても、信仰は後者に追い抜かれます。主のために奉仕と献金できることに感謝しましょう。

[月]主の憐みを求めることに遠慮はいりません。二人の盲人も群衆が黙らせようとしたが、求め続けました。その執拗な信仰の姿勢を見て、主は求めに応えました。「主よ、私達を憐れんで下さい」と祈るところに、主の憐みが現れます。

[火]両替や鳩売りは礼拝者の便宜を計り、手数料は神殿修繕に用いました。良いアイデアですが、主から見るなら「強盗の巣」でした。教会はいつの時代も「祈りの家」で、祈禱会を大事にします。祈りを忘れる時、良いアイデアも祝されません。

[水]宗教指導者は、外見は敬虔そうに見えましたが、心は神から遠く離れ、何の実りもないのです。正に「葉ばかりで実がないいちじく」と同じで、無用の長物です。信仰が実を結ぶためには、御言葉を祈りという水源から常に養分を頂くことです。

[木]ユダヤ(農夫達)は、神(家の主人)から救い主(息子)が与えられながら、十字架につけて殺しました。ですから、福音は「ふさわしい実を結ぶ民族」世界中の人々に与えられました。これは悔い改めによって結ぶ、御霊の実の事です。

[金]誰も主に招かれながら、選ばれる(救われる)人が少ないのはなぜでしょうか。それは自我という服を脱ぎ捨てず、キリストの救いという礼服を着ないからです。自分の都合を優先させず、用意された礼服を着て、神の祝福に与りましょう。

[土]人生の目的は何でしょう。主は、①神を愛すること、②人を愛すること、③自分を愛すること、と言われました。この三つの事を忘れて、どんなに一生懸命生きても、人生は虚しいのです。愛がなければ、御言葉に聴き従っているとはいえません。



NO.1469 2016.11/20-26 名前

|   | 聖書          | 問題                           | 答え |
|---|-------------|------------------------------|----|
| 日 | マタイ 20:1-19 | 後にいる者が先になり、先にいる者がどうなりますか。    |    |
| 月 | 20:20-34    | 主よ、ダビデの子よ、私達をどうして下さいと叫びましたか。 |    |
| 火 | 21:1-17     | 私の家は、何の家と呼ばれるべきですか。          |    |
| 水 | 21:18-32    | どうするならば、求めるものは何でも得られますか。     |    |
| 木 | 21:33-46    | 神の国はどんな民族に与えられますか。           |    |
| 金 | 22:1-22     | 招かれる人は多いが、選ばれる人はどうですか。       |    |
| 土 | 22:23-46    | 神は死んだ者の神ではなく、どんな者の神ですか。      |    |
|   |             | <b>感想と祈りの課題</b>              |    |







